

「 剃 刀 」

志賀直哉 著

情報工学科3年 三原 瑚桜

剃刀の扱いにおいては右に出る者のいない床屋の店主はその日風邪を引いていた。奥の部屋で休んでいたが、季節柄客が多く、表の喧騒が耳につく。店番は若者二人に任せていたが、繁忙期に腕前の劣る彼らだけでは頼りない。熱で苦しい身を横たえながら、店主は一人床の中で苛立っていた。そんなとき、剃刀を夕方までに研いであくれと言う客がやってきた。重い体、震える手。どうしても思うように研ぐことができない。若者に任せればいいと気遣ってくれる女房さえも鬱陶しい。店主は癩の強い男であった。自分の満足いく仕事をしなければ気が済まない。客の顔を剃るときも、毛の一本一本にまでこだわって剃った。

『剃刀』は小説の神様という異名を持つ志賀直哉の初期の作品である。志賀直哉は無駄を極限まで削ぎ落した文章で、見たものを見たままに、感じたものを感じたままに表現することを得意とした。はっきりした筆致で描かれる景色や、快/不快を率直に表した感情は、ときに現実以上のリアルさでこちらに迫ってくる。

氏の小説の中でも『剃刀』は特に、その迫り方に恐怖を感じるのだ。腕をじっと見つめていた。体は置物のように重かった。天井を眺めていた。蠅がたくさんとまっていた……というように、小説は店主の視点で淡々と進行する。店主の動きと感覚にびったり張り付いて追いかける文章は、常にピリピリした緊張感をはらんでいる。それは店主が、熱があるのに刃物を扱っているというシチュエーションのためだが、一部分でも言葉を変えたら駄文に成り下がってしまいそうなギリギリのバランスを保って成立した文章が、この緊張感をさらに高めている。

なんの虚飾もない文章が、現実を超え、時間の進み方さえも自在に操って、読み手を侵食していく。この作品の魅力は、自我が飲み込まれる感覚を味わえることだ。熱が出て苛々する、その気持ちは共感しやすい。だが、『剃刀』は共感するとか同情するとか、そんな次元の話ではない。読んでいるうちに主人公と一体化して、店主の知覚が自分の知覚に、店主の思考が自分の思考になる。店主の言動に何の疑問も抱かなくなる。

そうして最後の最後、高められた緊張が一気に弛緩し、小説世界から突き放されたとき。持ち主に帰ってきた思考で、本当の意味で店主に共感するのか、はたまた恐怖するのか。気になった方は「志賀直哉 ちくま日本文学021」に収録されているのでぜひ読んでみてほしい。

新刊のご案内 (その2)

【教員からの推薦図書②】

- 『公式TOEIC Listening & Reading 500+』
- 『英検準2級プラス対策 予想模擬テスト』
- 『すべての答えは小学校理科にある 電気・磁気編』
- 『大学初年級でマスターしたい物理と工学のベーシック数学』
- 『デジタル化時代の Additive Manufacturing の基礎と応用』
- 『13歳から鍛える具体と抽象』 『基礎からわかる論文の書き方』



「イン・ザ・メガチャーチ」 朝井リョウ 著 情報工学科5年 升岡 瑞葉

「最も怖かった本は何ですか?」と聞かれたら、私は迷わず朝井リョウさんの「イン・ザ・メガチャーチ」を挙げます。ホラーでもミステリーでもなく、熱心なファンを中心に、推し活や消費活動を組み込んだ「ファンダム経済」を構築する運営側と、それにのめり込んでいくファンの姿を描いた物語です。これまでも推し活を題材にした小説はたくさんありましたが、ファンダム経済を仕掛ける側の視点から描いた作品はとても新鮮でした。

物語は三人の視点から展開されます。

男性アイドルを売り出すための「物語」を設計するレコード会社勤務の久保田。舞台俳優を応援していたものの、ある報道をきっかけに状況が一変する派遣社員の隅田。繊細な性格ゆえに生きづらさを感じていたところ、あるアイドルと出会い深くのめり込んでいく大学生の澄香です。推す側だけでなく、仕掛ける側のロジックが丁寧に描かれているからこそ、私たちが注いでいる情熱は、実は計算され、誘導された消費活動であるという現実を突きつけられます。

この本を読んで一番怖かったのは、物語の中に「自分」を見つけてしまったことでした。私も大学生の澄香と同じように、推しの幸せを願い、その存在に救われてきた一人です。誰かが作った物語に没入し、狂乱している自分を客観視してしまった瞬間、強烈な苦しさに襲われました。しかし、この感覚は推し活に限った話ではありません。視野を狭め、「これが自分の幸せだ」と信じることで、人は生きやすくなることがあります。幸せの定義が無数にあるこの世界で、あえて視野を狭めることも一つの生存戦略だと本作は示します。同時に、それは本当に幸せなのかと静かに問いかけてもくるのです。

朝井リョウさんの作品は、常に時代を鋭く切り取ってきましたが、「イン・ザ・メガチャーチ」もまた、現代の推し活ブームを非常にリアルに描いた一冊です。一度読むともう以前の自分ではいられません。この時代を生きる私たち自身の物語として、ぜひ手に取ってみてください。

新刊のご案内 (その3)

【教員からの推薦図書③】

- | | |
|----------------------------|-------------|
| 『MATLABではじめるプログラミング教室』 | 『金属積層造形大全』 |
| 『MATLABで学ぶ物理現象の数値シミュレーション』 | 『仮説行動』 |
| 『データ科学のための微分積分・線形代数』 | 『解像度を上げる』 |
| 『電気回路素子を理解するための電気磁気学』 | 『電気法規と施設管理』 |
| 『CV波を正しく解釈する電気化学測定入門』 | 『分子の薄膜化技術』 |

編集後記

図書館だより第83号に執筆いただいた皆様、ご寄稿ありがとうございました。最近の図書館は利用者が増大し、定期試験前は1階も2階もラーニングcommonsも超満員。対策として、コロナ禍に倉庫へしまい込んでいたテーブルや作業台を引っ張り出し並べましたが焼け石に水。続く対策として、夜間職員さんの協力を得て定期試験1週間前にラーニングcommonsの解放を19:45まで延長することにしました。図書館として出来得る限り学習の場を提供しますので、勤勉に大いに励んでいただきたいと思います。



奈良工業高等専門学校 図書館

〒639-1080 大和郡山市矢田町 22

TEL 0743-55-6015

URL <https://www.nara-k.ac.jp/nncnt-library/>



奈良高専図書館